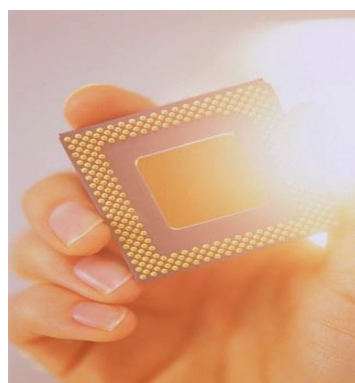




iPlus

CatuteFile Lite Ver 2.0

# インストール説明書



システム概要

リリース内容

ファイルの配置

フォルダーの配置

プリンタ

テキスト

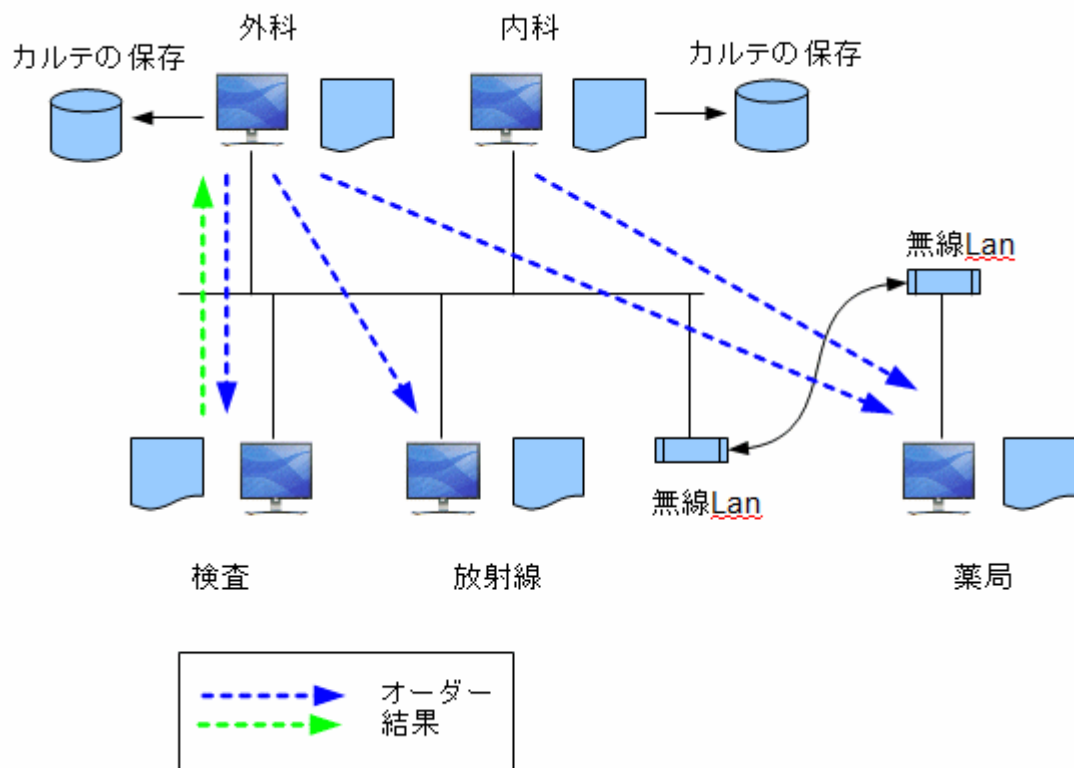
スタンドアロン

共有構成

ご注意

<http://www.ne.jp/asahi/soft/systemip/>

# 1.システム概要



## 必要な機材

端末  
PC Window 7, Vista, XP  
プリンタ  
スキャナ  
Lan  
Lan設備

### 端末



---

## 2.リリース内容

---

- |                      |                   |
|----------------------|-------------------|
| ① CaruteFileLite.exe | 本体                |
| ② CaruteFileLite.chm | ヘルプ               |
| ③ Comment.txt        | テキストファイル          |
| ④ libpq.dll          | dll               |
| ⑤ libpq_COPYRIGHT    | libpq著作権表示        |
| ⑥ license.rtf        | HiComponents著作権表示 |
| ⑦ PKIECtrl7.bpl      | dll               |
| ⑧ PKIEDB7.bpl        | dll               |
| ⑨ Shiori.txt         | テキストファイル          |
| ⑩ sqlite3.dll        | dll               |
| ⑪ sqlite_copyright   | sqlite著作権表示       |
| ⑫ インストール説明書          | この説明書             |
| ⑬ 操作説明書              |                   |

---

## 3.ファイルの配置

---

インストールフォルダー

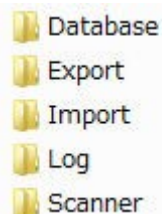
CaruteFileLite.exe  
CaruteFileLite.chm  
Comment.txt  
libpq.dll  
Shiori.txt  
sqlite3.dll

¥ windows ¥ System32

PKIECtrl7.bpl  
PKIEDB7.bpl

## 4.フォルダーの配置

### インストールフォルダー



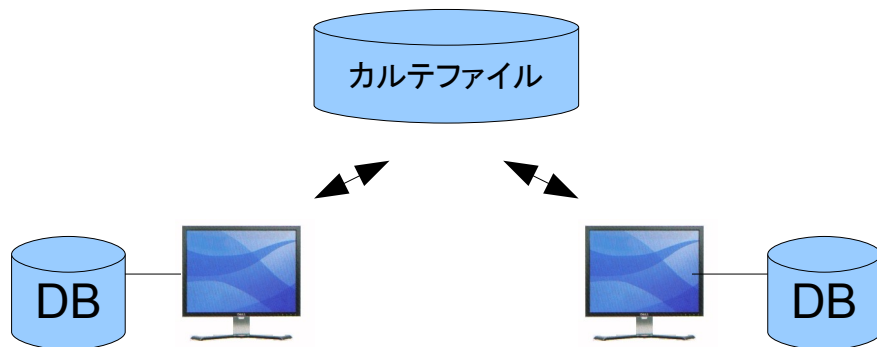
Paperフォルダーが追加されました。  
伝票イメージや項目形式情報及び  
項目データが格納されます。

- Database iPlusCaruteDb.sqb の格納フォルダー  
データベースは、端末毎に管理します。  
他の端末からはアクセスできません。  
セキュリティのため、このフォルダーとDBファイルのアクセス権は、この端末の  
ユーザーのみにします。
- Export 作業フォルダー
- Import インポートフォルダーは、他の端末からカルテファイルが送信されてきます。  
ワークグループの共有ファイルに設定します。
- Log ログフォルダー
- Scanner スキャナフォルダは、スキャナ装置の出力先のフォルダーです。  
スキャナ装置の設定でこのフォルダーを指定してください。

### ベースフォルダー

カルテファイルのベースとなるフォルダーです。  
C : ¥等のデバイスの直下への設定は避けて下さい。  
複数の端末から共同で使用する場合は、共有の設定をして下さい。  
カルテファイルは、重要なデータです。  
ミラーディスクや自動バックアップ等、障害対策を行って下さい。

ベースフォルダーを共有設定にすると、他の端末からファイルインポートで  
取り込みが可能になります。



---

## 5.プリンタ

---

端末で使用するプリンタは、共有プリンタに設定します。

プリンタを使用しない運用の場合は、インポートフォルダーでの運用になります。  
端末停止後は、他の端末からこの端末へオーダーや結果を送れません。  
共有プリンタの場合は、印刷はスプールされています。  
Lanへの接続が再開された場合、自動的に印刷が行われます。

---

## 6.テキスト

---

コンボボックスで使用する文字を作成します。  
メモ帳等のテキストエディタを使用して記入します。

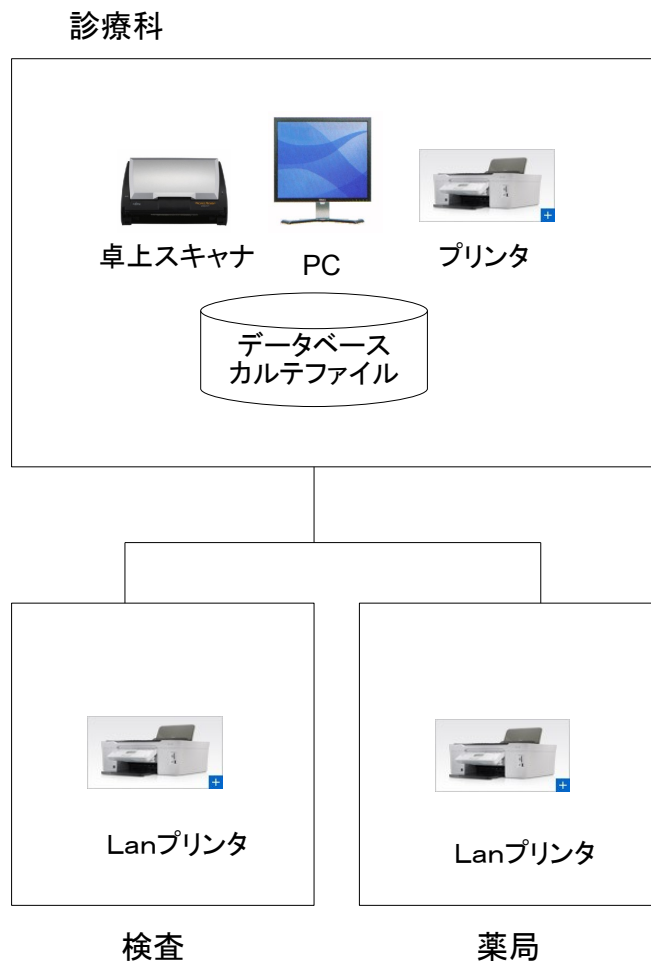
しおり

Shiori.txtには、よく使用されるしおりを作成してください。  
改行毎に、表示選択されます。

画像

Comment.txtには、画像に組み込まれる文字を記入してください。

## 7.スタンドアロン



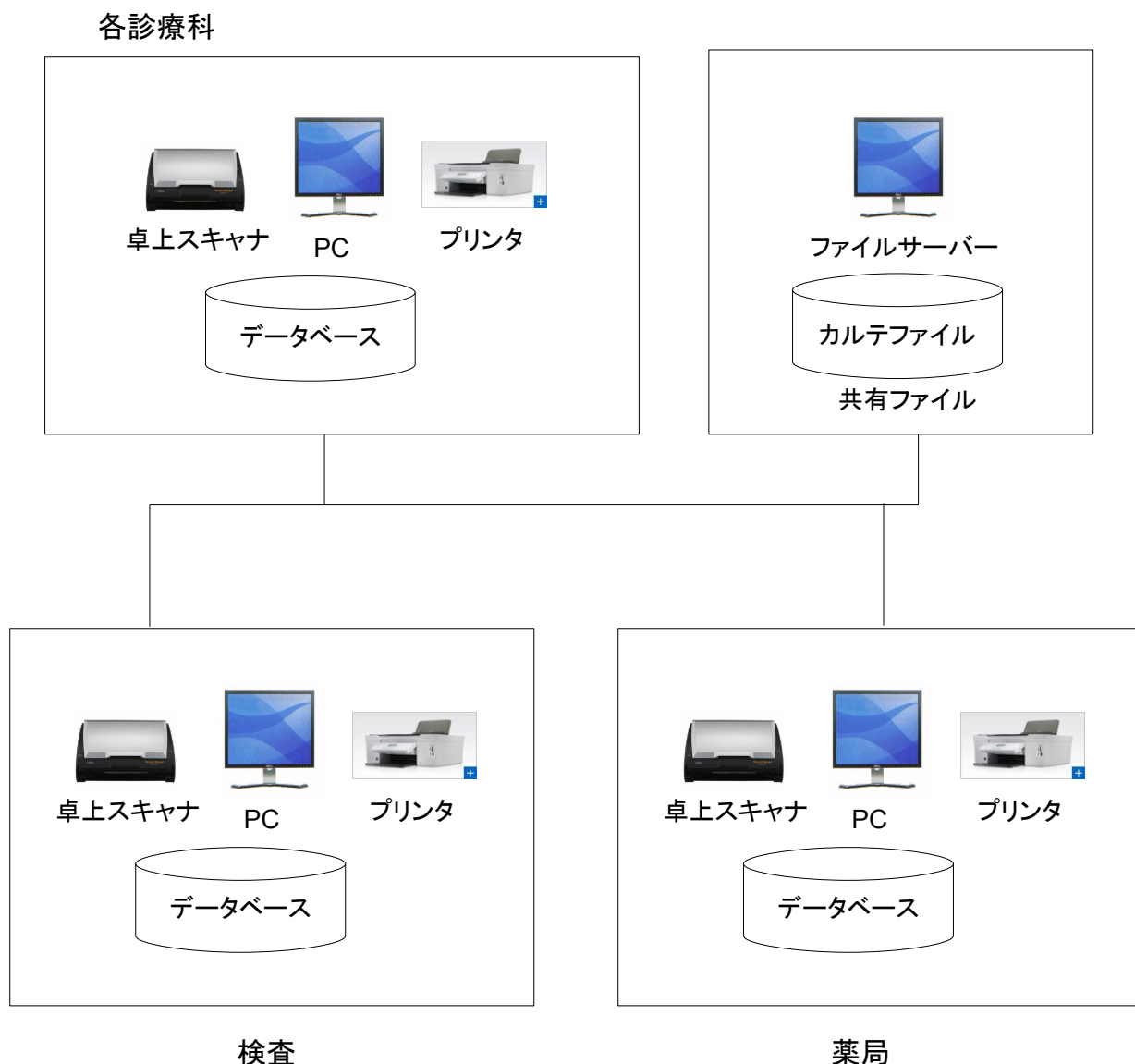
プリンタの接続は、検査や薬局はLAN接続、診療科はUSB接続にします。  
診療科のプリンタは、既定のプリンタに設定します。  
検査や薬局のプリンタは、送信先のプリンタに設定します。

この構成では、検査／薬局へはオーダーのみとなります。

### 複数の診療科の場合

この図の診療科の設定を複数セット用意します。  
診療科間のデータ交換はできません。  
(ファイルインポートや検索等では、他の端末のカルテファイルを使用できません。)

## 8.共有構成



プリンタの接続は、各PCに接続し、共有プリンタにします。  
カルテファイルの格納先のベースフォルダーを共有にします。  
各科のプリンタは、既定のプリンタに設定します。  
各診療科では検査や薬局のプリンタは送信先のプリンタに設定します。  
検査や薬局では各診療科のプリンタは送信先のプリンタに設定します。

検索できるカルテは、端末に登録されたカルテです。  
他の端末で登録されたカルテファイルをファイルインポートすることができます。  
上書き保存した場合は、検索も可能になります。  
この構成では、オーダーと結果の双方向ができます。

セキュリティはユーザーのアクセス制限で行います。  
共有のカルテファイルへアクセスできるユーザー又はユーザーグループを設定します。  
(アクセス制限の仕方は、Windowsの説明を参照して下さい。)

---

## 9.ご注意

---

- ◆ データベース容量  
1端末あたり1万件程度を限度とします。  
1患者あたり連番を5つ使用すると仮定すると2000人の患者数になります。  
端末を科別で管理する場合は、2000人/科、Dr別に端末を使用すると2000人/Dr端末となります。
- ◆ データベース  
データベースは、共有はできません。  
共有するとデータの安全が失われます。
- ◆ カルテファイルの保護  
カルテファイルの暗号化等の保護機能はありません。  
取り扱いに注意して下さい。